

危険度の高い重量物移動作業を改革 独自の装置開発で創業以来事故0を達成

同社は、電力の安定供給を目的とした機器更新工事に伴う重量物の運搬を行う事業者である。従来、重量物の運搬は木材を使用した「コロ曳」が中心であったが、全国初の機械化に成功。同社の独自開発の移動装置は、最大積載量300トンを筆頭に数種類あり、それぞれ特許を取得している。この装置は、作業員の安全が確保されるだけでなく、移動時間の大幅な短縮が可能となっており、道内のみならず、全国の電力会社での施工に用いられている。

●所在地 北海道旭川市永山北2条8丁目9番地6

●電話/FAX 0166-48-9990/0166-48-9909

●URL <http://kitaju.com>

●代表者 代表取締役 影本 秀基

●設立 2005年

●資本金 1,000万円

●従業員数 25人



独自の重量物移動装置の開発で、安全、省力化、工期短縮を実現

「コロ曳」を中心とした従来式の重量物移動作業は、作業者の安全確保が容易ではなく、事故の頻発要因となっていた。そこで同社は、作業員の安全を最優先にした作業環境実現のため、独自の移動装置を自社開発して、特許申請を行い、他社の追随を許さない工法を開発した。これは、事故の要因であるコロとウインチを排除して、低摩擦の油圧式スライドプレートを用いた移動装置であり、業界では他に類を見ない、安全、省力化、工期短縮を実現した重量物移動サービスとなっている。



重量物移動装置ZERO3

自社開発装置や3D機器の活用により作業員の負担軽減を実現

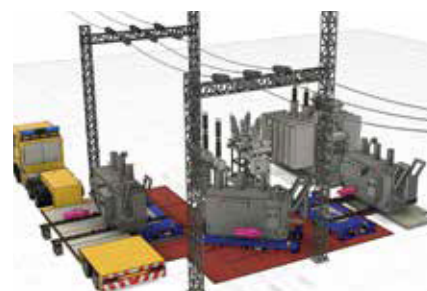
自社開発した移動装置を用いることにより、作業員の負担軽減と安全確保の実現がなされたほか、整地作業や後工程を含めた作業期間は、従来工法での3分の1程度にまで短縮することができた。また、従来工法では熟練技術を要する職人を数名必要としていたが、新工法では若手社員1名によるリモコン操作と軽作業員での施工が可能となった。さらに、3Dスキャナーを活用した施工計画書の作成により、見落としや計測ミス等を原因とした再調査は不要となり、現場における作業効率が飛躍的に向上した。



中長距離用3DレーザースキャナRTC360

事故を前提とした安全対策で創業以来事故0を達成

同社では、個々の作業員に「(誰もが) 事故を起こす普通の人間である」ことを自覚させることで、事故回避を最優先に作業するよう教育している。社員全員にノートパソコンを支給し、3D施工計画書等を活用した事前ミーティングで、作業内容を可視化して危険の芽を摘み取っている。また、作業現場では、小型カメラ、モバイルディスプレイ、ワイヤレスマイク等の情報・通信機器を導入し、事故要因の一つでも減らすよう防災活動に取り組むことで、創業以来、無事故無災害を継続している。



未然に事故を防ぐ3D活用